

《二〇二二年度 第三回試験 国語》解答例

一

- ① ぶあいそう ② いただき ③ こころ ④ 奮い ⑤ 忠告
⑥ 砂糖 ⑦ 誤り (2点×7)

二

問一 1 ウ 2 オ 3 ア 4 エ (2点×4)

問二 言葉は人が生まれる前から存在しており、人は自分から言葉を覚えることに
よって大人になるということ。 【48字】 (7点)

問三 (1) イ (4点) (2) 他者とのつながり (5点)

問四 ① イ・オ ② ア・ウ・エ (完答5点)

問五 インターネット (4点)

問六 化 (3点)

問七 エ (3点)

問八 ウ (5点)

問九 表情、身ぶり、雰囲気、気分といった言葉のかたちをもたない言葉。 (7点)

問十 (例) 子どもを落ち着かせるために、優しい笑顔とやわらかい言葉遣いで話しか
ける。 (7点)

問十一 言葉でしか言えないもの (5点)

問十二 言葉によって自分の心の中に思えがくものが、人それぞれ異なるというこ
と。 (7点)

問十三 ふつうは、情報が増えれば増えるほど、コミュニケーションは多くなると考え
られているが、それに対して筆者は、情報が増えれば増えるほどコミュニケー
ションが少なくなると考えているということ。 (7点)

問十四 (例) 受験勉強をしている中で、なかなか成績が上がらずあせっているときに、
母がだまって見守ってくれていたが、「大丈夫？」や「無理しないでね」など
の言葉をかけられるよりも、母が私を大切に思い、応援してくれていることが
伝わってきたこと。 (9点)